

1学期も終わりに近づいてきました！！

4月からスタートした1学期もあと1ヶ月となりました。あっという間に終業式がきてしまいそうですね。夏休みを心待ちにしている人もいますが浮足立つことないように落ち着いた学校生活を続けるようにしてください！！

来週の7月1日(火)から1学期期末テストになります。3年生のみなさんにとっては自分の進路決定の指針になる重要なテストになります。全力で取り組むようにしましょう！！本年度は例年に比べて就職希望の生徒が少ないようですが、求人票が多く届くのではないかと予想しています。就職希望者のみなさんは、数多くの求人票のなかから定年まで勤めるかもしれない会社を見つけなければなりません。今月号の特集記事をしっかりと読み自分に合った就職先を見つけるようにしてください。

1、2年生のみなさん、進路決定のために行動するのは3年生に進級してからではありません。みなさんも進路に関する行事に積極的に参加して早いうちから進路に関する情報を収集するようにしてください。

また今月中にはみなさんに「進路のてびき」が配布されます。学年末まで使用しますので配布されたら氏名を記入してしっかりと管理するようにしてください。進路のてびきの利用方法については来月号で特集を組みたいと思います。

6月に開催された行事



1年生進路ガイダンス



2年生進路ガイダンス



2年生校外進路研修



3年生面接指導

6月・7月の予定

- 6/25 (水) 交通安全教室 (LHR)
- 6/28 (土) 総合学力テスト (1、2年生希望者) 3年記述模試 (希望者)
- 6/29 (日) 3年記述模試 (希望者)
- 7/ 1 (火) ~4日 (金) 期末テスト
- 7/ 5 (土) 日本語ワープロ検定 (希望者)
- 7/ 7 (月) ~ 5分短縮日課
- 7/ 7 (月) ~11日 (金) オンライン進路ガイダンス (全学年希望者)
- 7/ 9 (水) 薬学講座 (LHR)
- 7/12 (土) 公務員模試 (3年生希望者)
- 7/15 (火) 1年生コース・科目選択説明
- 7/18 (金) 終業式、LHR、大掃除

6月になって
気温が高い日が多くなってきました。

体調を崩しやすい時期でもあるので健康維持に努めるようにしてください！



就職に向けての基礎知識



いよいよ7月1日（火）から求人票の受付が始まります。今月号では就職に向けての基礎知識について特集を組みました。まずは求人票の見方を覚えましょう。ついつい、企業名や職種、賃金ばかりに目が行きがちですが、必ずすべての項目をチェックするようにしてください！！

求人票 (高卒)

1. 会社の情報

2. 仕事の情報

3. 労働条件等

求人票 (高卒)

4. 選考

5. 補足事項・特記事項

6. 青少年雇用情報

1. 会社の情報

企業の所在地や、事業内容、会社の規模・歴史などの大枠をつかむことができます。

2. 仕事の情報

雇用形態、求人数、仕事の内容、就業場所の記載があります。なお求人数は、稲取高校での募集人数ではなく、他校を含めた高校生全体への求人数になります。

3. 労働条件等

賃金・賃金福利厚生・休日・就業時間の記載があります。賃金も大切ですが事故や病気の際、生活等を保障してくれる保険に加入しているかどうかも重要なポイントです。

4. 選考

応募・選考についての記載。適性検査の具体的な検査名やその他が該当する場合は、その他〔 〕欄に詳細な記載があるので必ず確認しましょう。

5. 補足事項・特記事項

以上の項目で書ききれないことが記載されているので、必ず目を通しておきましょう。

6. 青少年雇用情報

募集・採用に関する情報、研修制度などについて記載されている。また離職者数が多い事業所は、仕事内容やシフトが厳しすぎることが考えられる場合もあるので必ず目を通すこと。

※また、求人票は「高卒就職情報 WEB 提供サービス」を利用して見つけることもできます（掲載されている求人は公開求人になります）。なお利用には ID とパスワードが必要になりますので校内のみの利用に限定しています。利用方法については3年生を対象に後日説明します！！

会社選びのポイント



就職希望者の皆さんは夏休み前に三者面談が始まります！！そして1学期の終業式までには企業見学先（就職希望先）を決定しなければなりません。そこで今回は会社選びのポイントについてまとめてみました。1・2年生のみなさんも進路実現のためにも今のうちから知識として覚えておきましょう。



求人票には求人を行う会社の最も基本的な、そして最も重要な情報がたくさん記載されています。求人票を読み解くことは、就職活動の第一歩です。求人票には、仕事の内容、賃金、保険制度、就業場所など、その会社で働くうえで大切な情報が書かれています。自分の希望に合った職種や環境で仕事ができるのかどうかを、事前にしっかりと確かめることが大切です！！

Point 1 仕事の内容を知る

会社を選ぶには「どのような仕事をするのか？」が重要です。まずはその会社がどのような商品（サービス）を扱っているのか、どのような仕事をどのように行うのか？といったことを理解しましょう。

- 具体的にどのような仕事をするのか？
- 会社内での仕事（事務など） or 会社の外に出ることが多い仕事（営業など）か？
- 立ち作業 or 座り作業か？
- 専門的な知識や技術・資格は必要か？
- 自分を高めていく技術やノウハウを身につけることができるか？
- 希望の仕事がある場合、すぐにその仕事に就けるのか？すぐには難しそうな場合、どのような準備が必要か？ など



Point 2 会社の将来性を見る

会社は、仕事をする基盤となる場所です。安定して仕事を続けるには、会社の安定性や将来性が大切になってきますので、これまでの会社のあゆみ、今後の事業計画、社長（経営者）のメッセージなどから会社の全体像をつかんでおきましょう。また、先輩や卒業生で実際に働いている人がいる場合は直接話を聞いてみましょう。

- 会社が設立した時期は？（新しいからといって不安定ということはありません。一つの目安です）
- 会社の規模や知名度（大きければ将来性があるというわけではありません。小さくても将来性のある会社も数多くあります。）
- 会社の近年の実績（売上など）
- 産業動向を踏まえた将来性
- 採用者数、離職者数
- 社会への貢献度
- 経営母体、経営者の理念 など



Point 3 労働状況・職場環境をチェックする

仕事をするにあたって、働く環境が自分に適しているのかどうかは非常に大切な要素です。雇用形態、賃金、勤務時間、加入保険の有無などをよく調べておきましょう。

- 雇用形態はどうか？（正社員・派遣社員・その他）
- 勤務時間（何時から何時までの勤務か、残業時間、休日など）
- 賃金（初任給・賞与・入社後の給与の伸び）
- 研修制度・資格取得支援制度
- 会社までの通勤時間、通勤手当、寮設備
- 転勤の有無
- 加入保険（健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険など）
- 女性の場合、子育て支援があるか（育児休業の取得実績など）
- 社員の年齢構成、職場の雰囲気（企業見学の際にチェックする）
- 会社周辺の環境（企業見学の際にチェックする）



Point 4 総合的に判断する

Point 1～3をふまえて、どの会社を受けるのかを絞り込んでいきましょう。会社を選ぶにあたって、すべての条件が満足いくものであればよいのですが、自分の希望を完全に満たすことは難しいものです。自分のなかで条件に優先順位をつけておいて、そこから応募したいと思う会社を選んでいくようにしましょう。

- 条件に優先順位をつける
- 入社時点のことだけでなく、何年後かの自分の働く姿をイメージする。
- いろいろな会社を比較する。
- 進路指導の先生や保護者、先輩など、周囲の人に相談する。
- 会社見学へ参加し、資料ではわからなかったことをチェックしたり質問をする。
- 社風や雰囲気が自分にあっているかどうかを考えてみる。



※優先順位をつける主な項目例

- 仕事の内容
- 雇用形態
- 勤務地
- 通勤時間
- 終業時間・休日等
- 各種休暇
- 賃金・給与待遇
- 昇給
- 賞与
- 福利厚生（社会保険）
- 宿舍・寮の有無
- 会社の規模 など



また、求人票では分からない点について、進路指導室に置かれているパンフレットや会社ちらしを利用して会社の雰囲気や職場環境等チェックしましょう。

求人票にホームページアドレスが掲載されていることもあります。そちらから会社のホームページにアクセスしてみましょう！！